

環境活動レポート

活動期間 2019年4月～2020年3月

作成日 2020年6月1日



®環境省

エコアクション21

認証番号 0012052

株式会社亀田清掃

目 次

1. 組織の概要	1
対象範囲	1
組織図	2
2. 環境方針	3
3. 事業の概要	4
許可内容	4
処理能力	5
処理工程図	7
処理実績	9
4. 環境目的・目標	11
5. 環境活動 取組の評価と次年度取組	13
6. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14
7. マネジメントレビューの結果	14

1. 組織の概要

事業所名 株式会社亀田清掃
 代表者 代表取締役 池田 善徳
 所在地 函館市赤川町90番地の4
 設立年月日 昭和46年9月3日
 資本金 1,008万円
 従業員数 103名
 売上高 107,365万円(うち対象範囲売上高81,235万円)
 (2020年3月期)

建物敷地 本社 建物 495㎡ 敷地 8,418㎡
 函館汚泥脱水処理センター 建物 759㎡ 敷地 46,385㎡
 亀田清掃リサイクルセンター 建物 663㎡ 敷地 9,780㎡

【対象範囲】

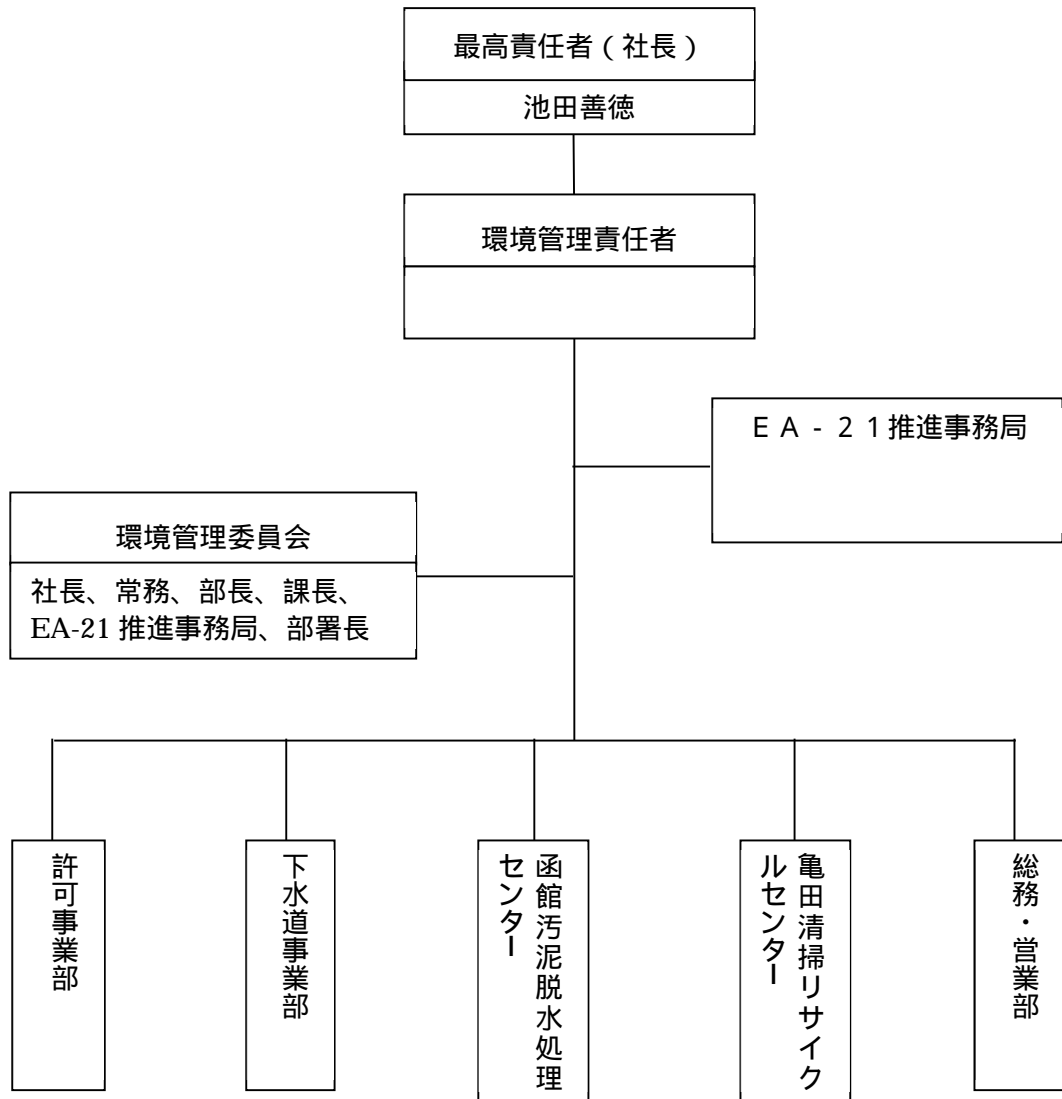
事業所	住 所	従業員数
本社	函館市赤川町90番地の4	43名
函館汚泥脱水処理センター	函館市東山町121番地の5	2名
亀田清掃リサイクルセンター	函館市東山町121番地20	13名

【対象活動の内容】

詳細内容
一般廃棄物、産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬業務 仮設トイレレンタル業務 浄化槽清掃・メンテナンス業務 下水道切替工事に伴う便槽清掃洗浄消毒業務 トイレ・排水管詰り改善作業 テレビカメラ管内調査業務 管渠止水更生工事業務 下水道管高圧洗浄業務 水運搬・散水業務 脱水・固化・破碎・選別・圧縮処理業務

環境管理責任者 中野 孝(取締役施設管理部長)
 担当者 古館 ひで子
 連絡先 Tel (0138)46-3263 Fax (0138)47-5689

組織図



各部署に環境推進委員(部署長)を置く

2. 環境方針

環境方針

基本理念

株式会社亀田清掃は、都市生活の空間の中で人々に限りない潤いをもたらせる「美しい水や緑とのふれあい」をいつまでも守っていくための支えになることを念頭に、廃棄物処理に携わる企業として地域社会はもちろん地球全体の環境負荷低減が事業活動の使命と自覚し「環境保全と持続可能な社会の実現に貢献する」ことを基本理念とします。

環境方針

株式会社亀田清掃は、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業務並びに産業廃棄物中間処理業務が主体であることを踏まえて、以下の原則を履行し環境管理活動を行います。

1. 本社事務所及び亀田清掃リサイクルセンター・函館汚泥脱水処理センターの事業活動が環境に与える影響を考慮し、環境汚染の予防に努めると共に環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 環境目的・目標を設定し、社員ひとりひとりが自覚を持って活動に取り組みます。また、環境目的・目標は諸条件及び状況の変化を捉え定期的に見直しを行います。
3. 当社の事業活動に関わる法規制並びに当社が同意するその他の要求事項を順守すると共に、自らの責任において社会の期待を考慮した行動に努めます。
4. 当社の事業活動において省資源・省エネルギーを推進し、自然エネルギーの有効活用を行います。また、産業廃棄物の中間処理業務においてはリサイクル率の向上に努め、最終処分量の削減を図ります。
5. 全社員が環境方針を理解し行動ができるように周知徹底を図り、環境管理活動に努めます。

この環境方針は、社外一般の求めに応じて公開します。

2017年 4月 1日
株式会社 亀田清掃
代表取締役 池田 善徳

3. 事業の概要

許可内容

許可内容	許可者	許可年月日	許可の有効年月日	許可番号	事業の範囲
産業廃棄物収集運搬業 (優良)	北海道	平成30年3月12日	平成37年3月11日	00100007685	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む)、鋳さい、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)、動物のふん尿、動物の死体、ばいじん、産業廃棄物を処分するために処理したもの。積替保管なし。
特別管理産業廃棄物収集運搬業(優良)	北海道	平成27年9月10日	平成34年9月9日	00150007685	廃油(揮発油類、灯油類、軽油類)、廃酸(pH2.0以下のもの)、廃アルカリ(pH12.5以上のもの)、特定有害産業廃棄物(廃石綿他)
産業廃棄物処分業	函館市	平成31年2月10日	平成36年2月9日	05223007685	脱水(汚泥(無機性のものに限る。)) 固化(汚泥(無機性のものに限る。)) 破碎(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器(廃石膏ボードに限る。)) 選別(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類) 圧縮(廃プラスチック類)
一般廃棄物処理業	函館市	令和2年3月19日	令和4年3月31日	1	
一般廃棄物処理業	北斗市	令和2年2月25日	令和4年3月31日	2-3	
一般廃棄物処理業	七飯町	令和2年3月27日	令和4年3月31日	4	
浄化槽清掃業	函館市	平成20年11月5日	無	2	
浄化槽清掃業	北斗市	令和2年2月25日	令和3年3月31日	2-2	
浄化槽清掃業	七飯町	令和2年3月27日	令和3年3月31日	2	
浄化槽保守点検業	北海道	平成30年10月3日	令和3年12月8日	60-39	
浄化槽保守点検業	函館市	平成30年10月5日	令和3年10月11日	2	
建設業	北海道	令和2年1月17日	令和7年4月13日	渡02669	
函館市企業局指定排水設備工事業者指定書	函館市企業局	平成31年4月1日	令和6年3月31日	平成31年度 217	

処理能力

1) 収集運搬車両

事業所	種 類		台数
赤川本社	ロードパッカー車	4 t	1台
	ロードパッカー車	6 t	6台
	プレスパッカー車	4 t	4台
	プレスパッカー車	6 t	5台
	ダンプ車(クレーン付)	6 t	1台
	ダンプ車(クレーン付)	7 t	3台
	ダンプ車	4 t	2台
	キャブオーバー	4 t	1台
	キャブオーバー(クレーン付)	5 t	1台
	ダンプ車(脱着装置付コンテナ専用車)	4 t	1台
	ダンプ車(脱着装置付コンテナ専用車クレーン付)	7 t	1台
	バキューム車	4 t	1台
	バキューム車	8 t	2台
	汚泥強力吸引車	5.5 t	1台
	汚泥強力吸引車	11 t	3台
	バン(乗用)		2台
函館汚泥脱水処理センター	ダンプ車	11 t	1台
	バックホー	0.7 m ³	1台
	ホイルローダー	1.9 m ³	1台
亀田清掃リサイクルセンター	ダンプ車	11 t	2台
	ミニホイルローダー	0.6 m ³	1台
	ミニバックホー	0.2 m ³	2台
	フォークリフト		1台

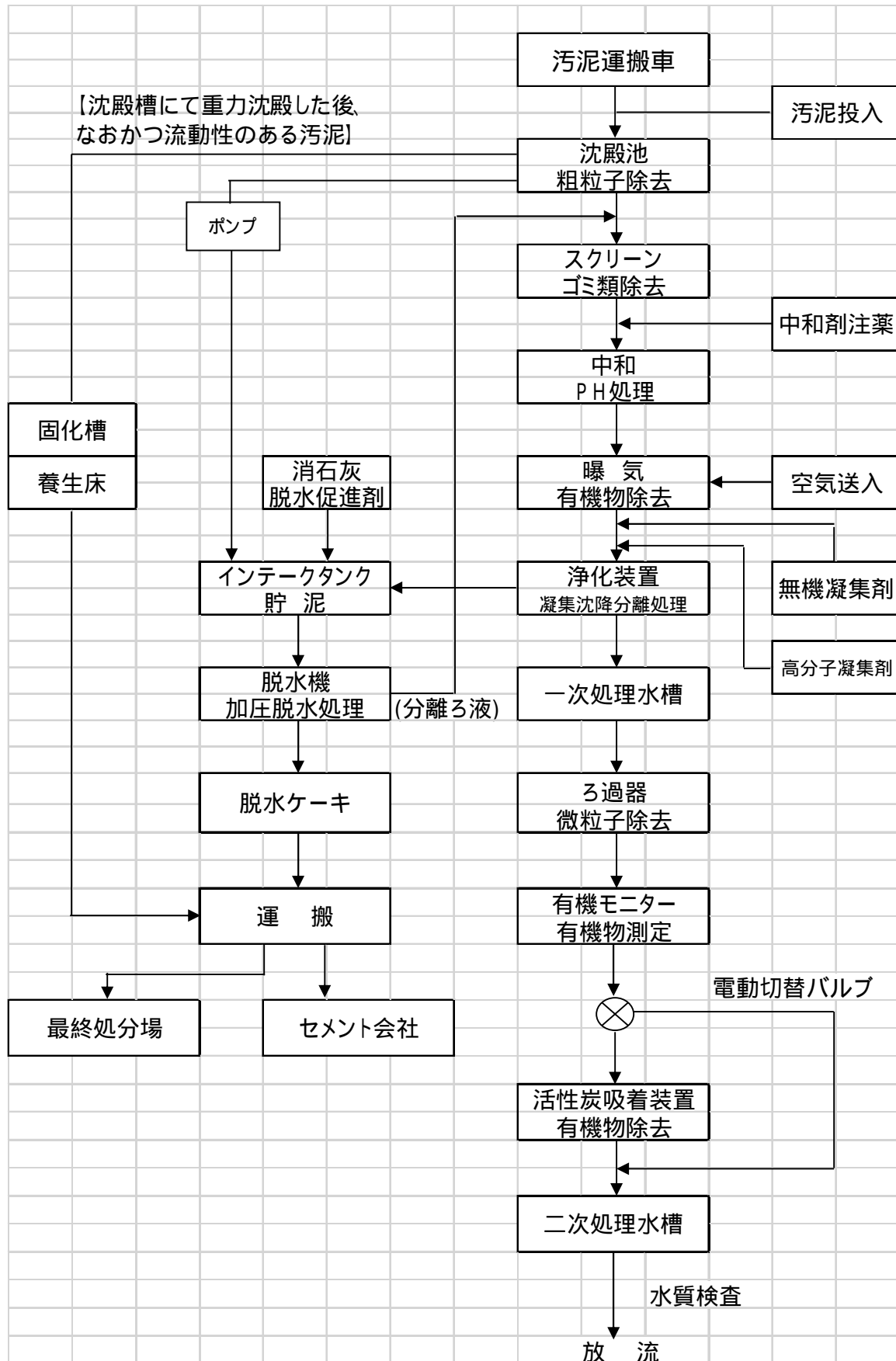
2) 中間処理施設

	施設の種類	処分方法	設置場所	処理能力
施設1	汚泥(無機性のものに限る)の脱水施設	脱水	函館市東山町 121 番 5・40 の内	46 m ³ / 日(8 時間) 5.75 m ³ / 時間
施設2	汚泥(無機性のものに限る)の固化施設	固化	函館市東山町 121 番 5・40 の内	41.28 m ³ / 日
施設3	廃プラスチック類、紙くず、木くずの破砕施設(廃プラスチック類、木くず)	破砕	函館市東山町 121 番 20 の内	8.2t / 日(8 時間) 1.025t / 時間
	廃プラスチック類、紙くず、木くずの破砕施設(紙くず)	破砕	函館市東山町 121 番 20 の内	6.1t / 日(8 時間) 0.762t / 時間
施設4	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードに限る)の破砕施設	破砕	函館市東山町 121 番 20 の内	4.8t / 日(8 時間) 0.6t / 時間
施設5	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類の選別施設	選別	函館市東山町 121 番 20 の内	161 m ³ / 日(7 時間) 23 m ³ / 時間
施設6	廃プラスチック類の圧縮施設	圧縮	函館市東山町 121 番 20 の内	4.0t / 日(8 時間) 0.5t / 時間

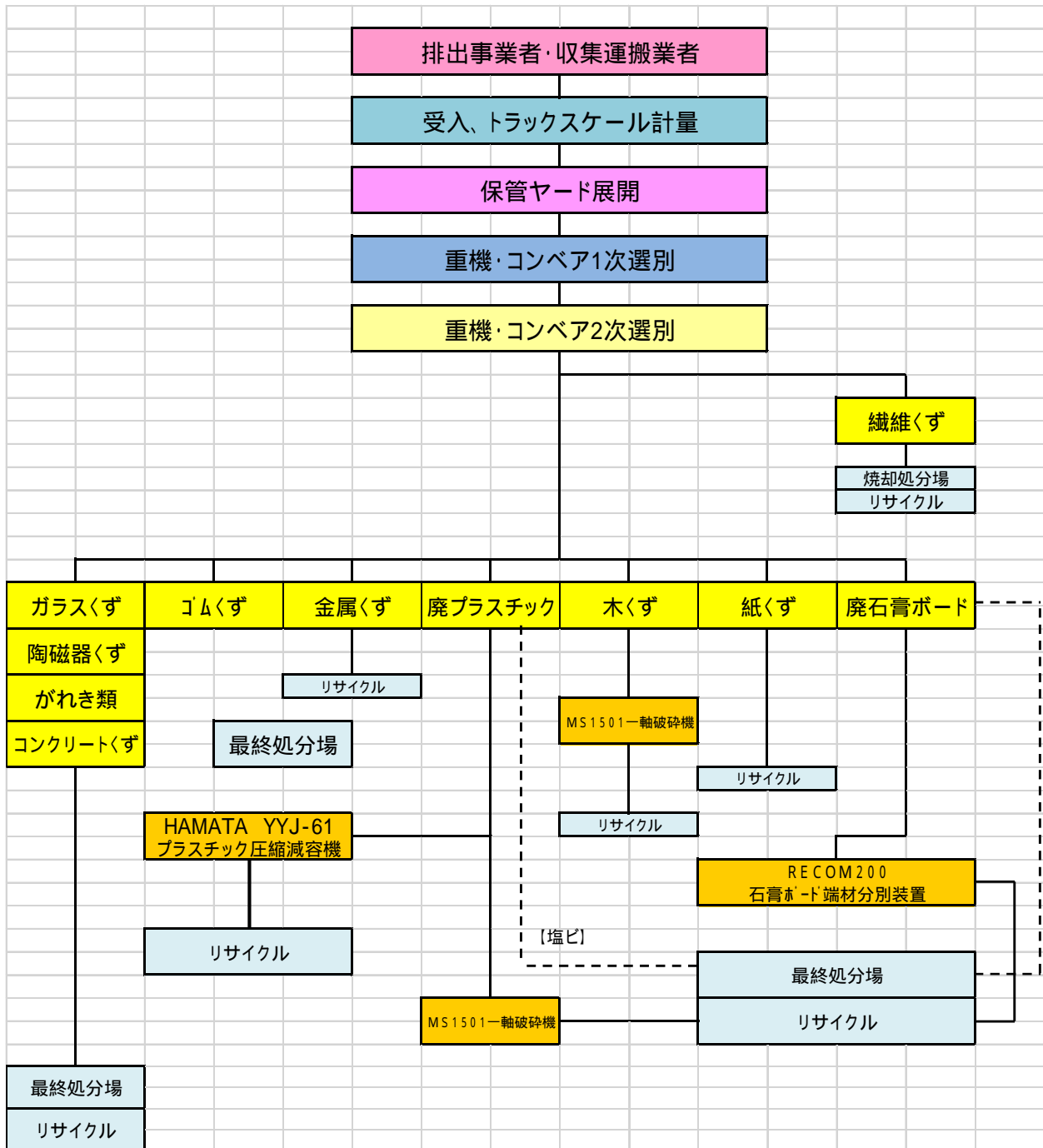
	品名	保管場所面積	最大貯蔵数量
混合廃棄物保管場所	木くず 紙くず 廃プラスチック類 繊維くず 金属くず がれき類等	748.25 m ²	935.32 m ³
工場内 (処理後の保管含む)	木くず(破砕) 廃プラスチック類(圧縮) 石膏ボード(破砕)	574 m ²	161.58 m ³ 9 m ³ 10 m ³
木くず保管場所	木くず	679.74 m ²	886.88 m ³
分別・処理後の保管場所	廃プラスチック類	233.17 m ²	45.21 m ³
	紙くず	70 m ²	87.5 m ³
	金属くず等	139.99 m ²	105 m ³

処理工程図

1) 函館汚泥脱水処理センター



2) 亀田清掃リサイクルセンター



処理実績

1) 環境への負荷の状況

環境への負荷		単位	2017年4月 ~2018年3	2018年4月 ~2019年3	2019年4月 ~2020年3
二酸化炭素排出量		kg-CO	786553	774976	752037
受託した産業廃棄物の 処理量	収集運搬量	t	15769	15635	11720
	中間処理量	t	12601	13193	10495
	うち再資源化等量	t	0	0	0
	中間処理後処分量	t	8825	11781	8393
	うち再資源化等量	t	5706	7563	4808
廃棄物排出量及び 最終処分量	一般廃棄物循環資源	t	0.64	0.62	0.57
	中間処理	t	0.64	0.62	0.65
	産業廃棄物再資源化等量	t	5706	7563	4808
	中間処分量	t	14.7	11.3	9.3
	最終処分量	t	3118	4010	3041
総排水量	公共用水域	m ³	1896	1541	1315
	下水道	m ³	1673	1649	1400
水使用量	上水	m ³	3569	3191	2716
化学物質使用量	セメント固化剤(ジオセツ)	kg	231000	113000	131000
	粉末ポリ塩化アルミニウム	kg	1140	640	760
	消石灰	kg	40	0	0
エネルギー使用量	購入電力	MJ	1110633	1001893	1041774
	化石燃料	MJ	10342630	10283398	9909482
	新エネルギー	MJ	10825	11869	14673
物質使用量	資源使用量	t	232.53	113.93	132.21

二酸化炭素排出係数(単位:kg-CO / kwh) 2016年度 0.683

		単位	2017年4月 ~2018年3	2018年4月 ~2019年3	2019年4月 ~2020年3
受託した一般廃棄物の	ごみ	t	10171	10382	10050
収集運搬量	し尿・浄化槽	t	3376	2869	2840

2) 受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t) 2017年4月～ 18年3月	処理量(t) 2018年4月～ 19年3月	処理量(t) 2019年4月～ 20年3月	
収集運搬	廃石綿等(特管)		24.11	3.11	0.28	
	廃油(特管)		4.15	2.49	2.18	
	混合廃棄物(石綿含有)		0.05	2.23	7.40	
	ガラス・陶磁器くず(石綿含有)			6.57	7.60	
	燃え殻		35.38	17.42	27.44	
	汚泥		9086.06	9771.60	7423.38	
	廃油		21.99	8.84	8.21	
	廃酸		37.1	32.91	65.88	
	廃プラスチック類		1150.37	1091.98	565.36	
	紙くず		6.84	14.95	33.23	
	木くず		380.93	242.03	182.16	
	繊維くず			0.79	0	
	動植物性残渣		2.22	3.27	11.58	
	金属くず		391.36	371.37	196.58	
	ガラス・陶磁器くず		582.62	627.79	141.38	
	がれき類		1812.88	546.79	634.05	
	混合廃棄物		2230.87	2886.2	2411.56	
	廃アルカリ		2.79	5.49	0	
		ガラス・陶磁器くず(水銀使用)				1.84
収集運搬量合計			15769.72	15635.83	11720.09	
中間処理	汚泥	脱水・固化	5938.74	6811.06	4005.13	
	廃プラスチック類	選別・圧縮・破砕	1478.47	1475.06	1483.87	
	紙くず	選別	261.19	279.84	297.45	
	木くず	選別・破砕	1862.09	1601.37	1450.92	
	繊維くず	選別	0	0	0	
	金属くず	選別	746.83	814.66	592.67	
	ガラス・陶磁器くず	選別	674.97	963.75	866.25	
	がれき類	選別	770.46	1030.57	1000.76	
	廃石膏ボード	選別・破砕	868.45	1247.91	798.94	
うち 再資源化	再資源化等量小計					
中間処理合計			12601.2	13193.65	10495.99	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	汚泥	管理型最終処分(委託)	0	17.8	33.00
		廃プラスチック類	安定型埋立(委託)	1216.56	1205.84	1011.60
		廃石膏ボード	管理型埋立(委託)	690.27	1004.5	798.94
		繊維くず	安定型埋立(委託)	0	0	0
		ガラス・陶磁器くず	安定型埋立(委託)	672.77	958.99	866.25
		がれき類	安定型埋立(委託)	538.91	1030.57	875.76
	再資源化	汚泥	焼成(委託)	3079.36	4400.3	1869.70
		廃プラスチック類	再生(委託)	186.84	278.06	472.27
		廃石膏ボード	焼成(委託)	0	0	0
		紙くず	再生・焼却(委託)	212.23	282.05	297.45
		木くず	燃料(委託)	1527.1	1608.54	1450.92
		繊維くず	燃料(委託)	0	0	0
		金属くず	再生(委託)	467.31	782.98	592.67
		ガラス・陶磁器くず	再生(委託)	2.2	4.75	0
がれき類	再生(委託)	231.55	207.14	125.00		
再資源化等量小計			5706.59	7563.82	4808.01	
中間処理後処分量合計			6518.02	11781.52	8393.56	

4. 環境目的・目標

環境目的 (施策内容)	部署名 (関連部署)	環境目標		
		2017年度	2018年度	2019年度
スマートドライブの徹底による二酸化炭素排出量の削減 (収集運搬車・バックホー・タイヤショベルの運転等)	許可事業部 総務・営業部 下水道事業部 汚泥処理センター リサイクルセンター	2013～2015年度の平均燃費実績を下回らない	2013～2015年度の平均燃費実績を下回らない	各部署設定平均燃費実績を下回らない
		許軽: 3.68 km/	許軽: 3.68 km/	許軽: 3.68 km/
		許ガ: 14.75 km/	許ガ: 14.75 km/	許ガ: 14.75 km/
		下軽: 2.27 km/	下軽: 2.27 km/	下軽: 2.27 km/
		泥軽: 2.52 km/	泥軽: 2.52 km/	泥軽: 車両入替のため 燃料実績把握
		総ガ: 13.1 km/	総ガ: 13.1 km/	総ガ: 12.3 km/
		リ軽: 2.81 km/	リ軽: 2.81 km/	リ軽: 2.60 km/
		リガ: 燃費実績把握	リガ: 2017年度実績を下回らない	リガ: 7.42 km/
		温度管理の徹底による二酸化炭素排出量の削減 (暖房機・温水ボイラー・洗車ボイラー等)	許可事業部 下水道事業部 総務・営業部	2013～2015年度の平均使用実績9172を上回らない
汚泥処理センター	2013～2015年度の平均使用実績3004を上回らない		2013～2015年度の平均使用実績3004を上回らない	2016～2018年度の平均使用実績2758を上回らない
	リサイクルセンター	2013～2015年度の平均使用実績1030を上回らない	2013～2015年度の平均使用実績1030を上回らない	2013～2015年度の平均使用実績1030を上回らない
電力使用管理の徹底による二酸化炭素排出量の削減 (PC・コピー機・エアコン・照明等)	許可事業部 下水道事業部 総務・営業部	2013～2015年度の平均使用実績18002kwhを上回らない	2013～2015年度の平均使用実績18002kwhを上回らない	2017～2018年度の平均使用実績と前回目標値の中央値15720kwhを上回らない
受入混合廃棄物のリサイクル率の向上による埋立処分廃棄物の削減	リサイクルセンター	2013～2015年度のリサイクル率平均実績43.34%の0.5%向上	2013～2015年度のリサイクル率平均実績43.34%の1%向上	2013～2015年度のリサイクル率平均実績43.34%の1.5%向上
無理・無駄のない収集路線の確立による二酸化炭素排出量の削減 (収集運搬車)	許可事業部	2013～2015年度の平均走行距離実績527612kmの1%削減	2013～2015年度の平均走行距離実績527612kmの1%削減	2018年度の累計走行距離実績559654kmの1%削減

環境目的 (施策内容)	部署名 (関連部署)	環境目標		
		2017年度	2018年度	2019年度
固化剤添加率低減による化学物質使用量の削減	汚泥処理センター	2013～2015年度の平均固化剤使用実績 0.11/m ³ (添加率)を上回らない	2013～2015年度の平均固化剤使用実績 0.11/m ³ (添加率)を上回らない	2016～2019年度の平均固化剤使用実績 0.11/m ³ (添加率)を上回らない
LED照明への取替による二酸化炭素排出量の低減	総務・営業部	事務所内7箇所のうち4箇所取替	事務所内3箇所のうち3箇所取替	実施済み
グリーン購入法適合商品の購入・使用の促進	総務・営業部	グリーン購入法適合商品の購入率85%以上	グリーン購入法適合商品の購入率85%以上	グリーン購入法適合商品の購入率85%以上
水道水使用量の削減	許可事業部 下水道事業部 総務・営業部	2013～2015年度の平均使用実績1308m ³ の1%削減	2013～2015年度の平均使用実績1308m ³ の1.5%削減	2013～2015年度の平均使用実績1308m ³ の1.8%削減
	リサイクルセンター	2013～2015年度の平均使用実績660m ³ の1%削減	2013～2015年度の平均使用実績660m ³ の1.5%削減	2013～2015年度の平均使用実績660m ³ の50%削減
一般廃棄物の適正処理によるゴミ排出量の削減	許可事業部 下水道事業部	2013～2015年度の平均可燃物排出量 274.2kgを上回らない	2013～2015年度の平均可燃物排出量 274.2kgを上回らない	2013～2015年度の平均可燃物排出量 274.2kgを上回らない
	総務・営業部	2013～2015年度の平均可燃物排出量 294.5kgを上回らない	2013～2015年度の平均可燃物排出量 294.5kgを上回らない	2013～2015年度の平均可燃物排出量 294.5kgを上回らない
	リサイクルセンター	2013～2015年度の平均可燃物排出量 202.1kgを上回らない	2013～2015年度の平均可燃物排出量 202.1kgを上回らない	2013～2015年度の平均可燃物排出量 202.1kgを上回らない

二酸化炭素排出量 (kg-CO₂)

2019年4月～20年3月	752037
---------------	--------

5.2019年度環境活動 取組の評価と次年度取組

環境目的	実施内容	部署名等	達成率	評価点	次年度の取組
スマートドライブの徹底による二酸化炭素排出量の削減（ガソリン・軽油）	アイドリングストップ 経済速度での走行 無駄な荷物は積まない 無駄な空ぶかしをやめる 急発進・急加速・急ブレーキをやめる 暖気運転の短縮 エアコンの使用を控えめにする 車両整備 早めのギヤチェンジ	許可事業部 軽油 ガソリン 下水道事業部 軽油 総務営業部 ガソリン 汚泥センター 軽油 リサイクル 軽油 ガソリン	98.4% 100.3% 96.4% 98.0% 110.0% 101.0%	3点 5点 3点 3点 5点 5点	使用する車両台数が多いのでガソリン・軽油の燃費実績を良くする事は大切です。全部署員目的意識を高く持ち、次年度も計画通り実施します。
温度管理の徹底による二酸化炭素排出量の削減（灯油）	暖房機の温度管理等の徹底 ボイラーの温度管理等の徹底 お湯の止め忘れ防止	赤川本社 汚泥センター リサイクル	115.1% 208.8% 165.7%	5点 5点 5点	次年度も計画通りに取り組んで二酸化炭素排出削減に努めます。
電力使用管理の徹底による二酸化炭素排出量の削減	照明、空調の消し忘れ防止 OA 機器等の電源管理の徹底 冷房の温度管理(28)	赤川本社	119.9%	5点	次年度は下水道事業部による事務作業が増え、電力の使用量が多くなる事が予測されますが、目標達成できるよう電源管理を徹底します。
受入混合廃棄物のリサイクル率の向上による埋立処分廃棄物の削減	受入廃棄物の分別作業の徹底 責任者による選別作業の確認 現場作業員による作業効率の検証と改善	リサイクル	101.8%	5点	次年度も更なる分別の徹底を図る事により目標達成を図ります。
無理・無駄のない収集路線の確立による二酸化炭素排出量の削減（収集運搬車）	現場作業員同士での連絡を密にとる 取残しをなくす 現場でのお客様とコミュニケーションをとる 効率のよい配車と敷地内作業	許可事業部	101.2%	5点	次年度も継続して取組みます。
固化剤添加率低減による化学物質使用量の削減	沈殿槽での沈殿時間の延伸による水切り作業 固化剤の添加量を抑え養生時間を延伸する 脱水可能汚泥の機械脱水による脱水の徹底 固化剤の小分け使用	汚泥センター	110.0%	5点	次年度は固化剤添加率の使用実績を2016～2018年度の使用実績に見直して取組みます。
グリーン購入法適合商品の購入・使用の促進	適合商品（エコマーク・GPN含む）の調査・購入 適合商品購入率の集計・報告	総務営業部	115.7%	5点	次年度はグリーン購入の促進を環境目的として取組みはせず、継続的にグリーン購入に努めます。
水道水使用量の削減	洗濯時の水使用量管理 洗車、レンタル品清掃時の水使用量管理	赤川本社 リサイクル	115.0% 261.9%	5点 5点	赤川本社においては、次年度目的使用量を見直し、2017～2019年度使用実績1329 m ³ の2%削減に取組みます。リサイクルセンターは工場内での粉塵を伴う作業の作業環境を考慮し、目的値は変更せず取組みます。

一般廃棄物の適正処理によるゴミ排出量の削減	分別の徹底	許可・下水道事業部 総務営業部 リサイクル	149.2%	5点	次年度もごみの適正分別や裏紙利用の徹底をし、継続して取り組みます。
	喫食ゴミ、コピー用等のリサイクル排出		94.4%	3点	
	廃棄物排出量管理表への記入		129.0%	5点	

評価点の基準...達成率100%以上 5点 90%以上100%未満 3点 90%未満 1点 とする

6. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

「環境関連法規制及びその他の要求事項登録表兼順守状況確認書」により、先ず各部署長が順守状況を確認・評価を行い、次に事務局が各部署長立会のもと、見直しを行った結果、環境関連法規に違反のないことを確認しました。また、外部からの訴訟もないことを確認しました。

7. マネジメントレビューの結果

実施日	2020年 5月29日(金)		場所	1F 詰所
出席者	社長、環境管理責任者、事務局、部署長			
見直し 関連情報	情報項目	情報内容・資料等		
	法的及び当社が同意するその他の要求事項順守結果	2019年11月～12月各部署長に順守評価を実施してもらい、2020年1月20日に各部署長へ事務局が順守状況の最終確認した結果、違法行為はなく、法的要求事項及びその他の要求事項が順守されている事を確認しました。		
	社長による見直し指示	見直し	特になし	
		指示	特になし	
	苦情を含む社外からのコミュニケーション	苦情 2件、許可事業部でした。その他7件 苦情については、不適合是正処置予防処置記録書にて展開され是正処置されたことを確認しました。作業手順書の見直しはありませんでした。		
	社長による見直し指示	見直し	特になし	
指示		再発防止のための話し合いを社員と行なったらどうか		

環境目標の達成度	ガソリン・軽油			
		目標値	実績	達成率
	許可(軽)	3.68 km/	3.62 km/	98.4%
	許可(ガ)	14.75 km/	14.80 km/	100.3%
	下水	2.27 km/	2.19 km/	96.4%
	総務	12.30 km/	12.06 km/	98.0%
	汚泥	車両入替のため燃料実績の把握		
	リサイクル(軽)	2.60 km/	2.86 km/	110.0%
	リサイクル(ガ)	7.42 km/	7.50 km/	101.0%
社長による	見直し	未達成の部署の目標値が適正かどうか		
	指示	部署の社員同士で協議したらどうか		
	灯油			
		目標値	実績	達成率
	赤川本社	9172	7964	115.1%
	汚泥	2758.3	1321	208.8%
	リサイクル	1030	621.5	165.7%
社長による	見直し	特になし		
	指示	特になし		
	● 水道水使用量の削減			
		目標値	実績	達成率
	赤川本社	1284 m ³	1116 m ³	115%
	リサイクル	330 m ³	126 m ³	261.9%
社長による	見直し	特になし		
	指示	特になし		
	● ゴミ排出量の削減(一般廃棄物)			
		目標値	実績	達成率
	許可・下水	274.2kg	183.6 kg	149.2%
	総務	294.5kg	311.9 kg	94.4%
	リサイクル	202.1kg	156.7 kg	129.0%
社長による	見直し	特になし		
	指示	特になし		

		<p>各部署独自の取組項目 電力の使用量削減については、本社のみ取組とし汚泥及びリサイクル各処理施設においては受入量に左右されるため電気使用量と処分量をチェックし無駄のないよう管理しています。 電気</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤川本社</td> <td>15720 kwh</td> <td>13108 kwh</td> <td>119.9%</td> </tr> </tbody> </table>		目標値	実績	達成率	赤川本社	15720 kwh	13108 kwh	119.9%
	目標値	実績	達成率							
赤川本社	15720 kwh	13108 kwh	119.9%							
社長による	見直し	特になし								
	指示	特になし								
		<p>【許可事業部】 無理・無駄のない収集路線の確立</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>559654 kmの1%削減 554059 km</td> <td>547121 km</td> <td>101.2%</td> </tr> </tbody> </table>	目標値	実績	達成率	559654 kmの1%削減 554059 km	547121 km	101.2%		
目標値	実績	達成率								
559654 kmの1%削減 554059 km	547121 km	101.2%								
社長による	見直し	特になし								
	指示	特になし								
		<p>【汚泥脱水処理センター】 化学物質使用量の削減</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.11 t/m³</td> <td>0.10 t/m³</td> <td>110%</td> </tr> </tbody> </table>	目標値	実績	達成率	0.11 t/m ³	0.10 t/m ³	110%		
目標値	実績	達成率								
0.11 t/m ³	0.10 t/m ³	110%								
社長による	見直し	特になし								
	指示	特になし								
		<p>【リサイクルセンター】 リサイクル率の向上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43.99%</td> <td>44.81%</td> <td>101.8%</td> </tr> </tbody> </table>	目標値	実績	達成率	43.99%	44.81%	101.8%		
目標値	実績	達成率								
43.99%	44.81%	101.8%								
社長による	見直し	目標値の見直し								
	指示	目標値を達成したのでリサイクル率向上のため目標値を見直したらどうか								
		<p>【総務・営業部】 グリーン購入法適合商品の購入・使用の促進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入率 85%以上</td> <td>98.4%</td> <td>115.7%</td> </tr> </tbody> </table>	目標値	実績	達成率	購入率 85%以上	98.4%	115.7%		
目標値	実績	達成率								
購入率 85%以上	98.4%	115.7%								
社長による	見直し	目標値の見直し								
	指示	目標値の見直し								

		<p>その他環境管理活動</p> <p>【許可事業部】 洗車場及び分別作業場排水管理 灯油タンク油漏れチェック 計画通り実施</p> <p>【汚泥センター】 灯油タンク軽油タンク油漏れチェック 油漏れの発生はありませんでした 電力使用量の管理 汚泥受入量に左右されるため電気使用量と処分量をチェックし、無駄のないように管理しています</p> <p>【リサイクルセンター】 灯油タンク油漏れチェック 油漏れはありませんでした 電力使用量の管理 工場内照明の LED 化や他照明の間引き点灯している他、事務機器についても省エネタイプを導入しています</p> <p>【総務営業部】 ソーラーパネル利用エネルギーの測定 太陽光発電量 3297 kwh 売電量 470kwh でした</p>
社長による	見直し	特になし
	指示	特になし
システムの是正・予防処置		<p>環境目標 3 ヶ月連続未達成 2 件</p> <p>社外より寄せられた苦情 2 件</p> <p>緊急事態の発生 0 件</p> <p>環境目標 年度での未達成（全部署あわせて 16 項目） 4 件</p>
社長による	見直し	特になし
	指示	目標未達成の原因の究明
前回のフォローアップ及び指示事項に対する対応結果		特になし
改善の提案		特になし
その他環境関連情報		当社に関わる重要と認められる情報はありませんでした。

	見直し事項	指示事項等
社長による見直し指示事項等	環境方針	エコアクション 21 2017 年度版の認証取得に向け、新たな環境方針へ見直しをする
	環境目標	2020 年 4 月～2021 年 3 月の取得内容で運用し、2021 年 4 月からの環境経営目標について、環境経営方針の改定にあった環境経営目標とする
	環境に関する組織	特になし
	システムに関するその他の要素	特になし
社長によるコメント	循環型社会構築のため、さらなるリサイクル率の向上、又、エコアクション 21 2017 年度版の認証取得に取り組むため、二酸化炭素の削減、水使用量の削減など新たな目標を設定し環境負荷低減に取り組む	
事務局及び部署長対応結果	目標未達成や苦情に対する不適合是正処置及び予防処置については、部署長と部署員が再発防止のための話し合いを行うよう指示する	